

# 現在分詞について

今回は動詞の「非人称形」(formas no personales)の1つである過去分詞を取り上げましたが、今号は現在分詞です。現在分詞の機能ですが、ひとことで言って「動詞」と「副詞」の働きを分かち持っています。「分詞」とは「分かち持つ言葉」であることを再確認しましょう。

ところで、「現在分詞」という用語ですが、スペイン語では何と言うのでしょうか。単純に“participio de presente”と考えると誤りです。実は“gerundio”と言います。“gerundio”は本来「動名詞」なのですが、スペイン語では副詞的に使うのが大原則なので矛盾した名前となっていました。一方、その働きは英語の現在分詞と似ています。そこで日本では「現在分詞」が定着しています。我々もこれを使うことにします。

用法として最も基本的なのが、進行形《estar+現在分詞》です。ただ、スペイン語は現在形や線過去でもある程度「進行状態」を表すことができますので、進行形が使われているときはより強調されていると考えてよいでしょう。また、実際の用法では必ずしも厳密に「進行中」というわけではありません。例えば、

En Japón **trabaja** en un restaurante español.  
日本ではスペイン料理店で**働いている**。(職業として)

**Estoy trabajando** en un restaurante español desde que entré en la universidad.  
大学入学以来スペイン料理店で**働いている**。(一時的にバイトとして)

もちろん文脈によりますが、上のようにニュアンスに差を付けることができます。後者の場合、「今、仕事」(つまり「進行」)ではありません。「一時的に、バイトで」を強調するために進行形にしています。一方、

Perdona, ahora **estoy trabajando** en un restaurante español.  
Te llamaré más tarde.  
ごめん、今スペイン料理店で**バイト中なんで**、後でかけるね。

このような文脈が具体的にある場合はもちろん「仕事」(進行中)です。どんな動詞でも進行形になるわけではなく、なりにくい動詞があります。例えば、本来的に継続的な意味を持つ“saber”や“amar”は進行形には通常なりません。また、「瞬間的」な動作を表す動詞はそもそもその動作を「進行」するわけにはいかないのが「繰り返し」に解釈されます。後者の例です。

El cartero **está golpeando** a la puerta.  
郵便配達人はドアを(何度も)**ノックしている**。

続いて、estar以外を用いた構文を思い出しましょう。《seguir+現在分詞》(〜し続ける)はよく使われる表現です。

Las autoridades policiales **siguen investigando** la causa del accidente de tráfico.  
警察当局はその事故の原因を**究明し続けている**。

その他、《andar+現在分詞》(〜して歩く)、ir+現在分詞(〜してゆく)、venir+現在分詞(〜してきている)などは初級の教科書でおなじみです。

Ese tipo **anda diciendo** tonterías por todas partes. ¡Cuidado, son mentiras!  
そいつはそこらじゅうで馬鹿なことを**触れ歩いている**。気をつけろ!嘘だから。

《動詞+現在分詞》が固定した慣用表現化してはいないけども、やはり主動詞に係っている場合があります。ここでは「副詞的用法」と呼んでおきましょう。

Los inmigrantes ilegales cruzaron el Estrecho de Gibraltar **nadando**.  
不法移民たちは泳いでジブラルタル海峡を渡った。

現在分詞の重要な用法の1つは分詞構文です。さっきの副詞用法とどう違うか考え出したらいろいろ問題になるのですが、ここでは、「より独立性が高く、一文に相当するとみなせるような構文」を分詞構文と考えておきましょう。分詞構文の意味は基本的に「〜して、〜しながら」と考えていいのですが、細かく考えるとその意味と訳し方は様々です。時(〜すると)、条件(〜すれば)、譲歩(〜だけれども)、などです。現在分詞自体には具体的な意味はなく、前後の文脈等で様々な意味が生じると考えたらわかりやすいでしょう。

**Corriendo** a toda velocidad llegué a tiempo al banco.  
全力で**走ったので**銀行の閉店に間に合った。(理由)

**Estudiando** duro todos los días podrás aprobar las oposiciones para funcionario del Estado.  
毎日しっかり**勉強すれば**、国家公務員試験に受かるだろう。(条件)

**Viviendo** cerca de la Universidad, Raquel llega tarde a clase.  
ラケルは大学の近くに**住んでいるのに**授業に遅刻する。(譲歩)

Ella, sin decirnos nada, entró en su habitación, **cerrando** la puerta con llave.  
彼女は我々に何も言わずに部屋に入り鍵を**閉めた**。(継続行為)

この文では2つの行為は同時ではなく、順に起こっているのがわかりますね。言い換えると次のようになります。

Ella, sin decirnos nada, entró en su habitación y cerró la puerta con llave.

現在分詞は知覚動詞(verやoír)の構文でもよく使われます。《知覚動詞+目的語+現在分詞》です。例文を見てみましょう。

Quiero ver el sol **saliendo** de la cumbre del monte Fuji.  
富士山の頂上から太陽が**昇っているの**を見てみたい。

スペイン語の現在分詞は英語とは違って形容詞的な用法はありませんが、一部慣用句は例外です。

例: agua hirviendo 沸騰する湯

また、絵画等のタイトルではよく使われます。

例: “Mujer llorando”『泣く女』(ピカソ)

最後に知っていると便利な慣用的な表現です。便利なのでどんどん覚えて使ってみよう。

Cambiando de tema... : 話題を変えると…  
Dependiendo del caso... : それは場合によるが…  
Pensándolo bien... : それをよく考えてみると…  
Teniendo en cuenta que... : ~を考慮すると…

今回は簡単だったと思います。分詞を使うと表現の幅が広がることが実感できたのではないのでしょうか。¡Hasta la vista!

文 仲井邦佳



仲井邦佳  
なかいくによし/Kuniyoshi Nakai

立命館大学産業社会学部教授。  
京都イスパニア学研究会会長。専門はスペイン語学。  
著書に『はじめてのエスパニョール』(共著、三修社)、『中級スペイン語 一文法と演習一』(共著、同学社)などがある。